



にじのはし幼稚園 園だより



令和8年3月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 飯田美弥

今年の2月は雪の日があったと思ったら、上着がいらないくらいの暖かい日もあり、一步一步春に近づいていることを感じる今日この頃です。お台場学園のカワヅザクラを遠目に見ながら、春が来る喜びと、巣立つ子どもたちを送る寂しさとが交錯するこの時期ならではの気持ちを味わっています。

幼稚園の子どもたちは、今年度も様々な人とのかかわりの中で大きく成長しました。少人数の園であることを特色と捉え、園内でも異年齢のかかわりを大切に過ごしてきました。また、地域の台場保育園、アスクお台場保育園との交流の機会や、お台場学園の中学生との交流の機会を昨年度よりも多くもちました。先生方が事前に綿密な打ち合わせをすることで、子どもたち同士の交流が単なる交流ではなく、お互いの成長を感じるものになったと思います。また、様々な行事では、地域の方の力をたくさんお借りしました。2月には5歳児いるか組が外に出て就学を見据えた歩行訓練を行いました。一人で歩くことに緊張でいっぱいの子供たちを、要所要所に立っていただき見守っていただけたことで、安心して歩くことができました。地域に幼稚園以外の友達、顔見知りのお兄さんお姉さん、保護者以外の知っている大人がいるということは、大きな財産です。温かい地域の中で安心して育つことができること、その一端に幼稚園があることの有難さを改めて感じているところです。これからも、地域の幼稚園として、各保育園やお台場学園との連携を密にしながら、お台場の子どもたちの成長を共に喜び合う存在でありたいと思います。

今年度は、一人ひとりのよさが育つというねらいをもち、園だよりでも発信してきました。人はどうしても欠けているところに目が行きがちです。でも、どんな人にもよさがあります。そして、自分にないものをもっている人が周りによって、パズルのピースが合わさるように、支え合って育ちあうことができます。幼稚園では、たくさんの人の協力の下で安心しながら、遊びや生活の中で挑戦する経験を重ねていくことができました。そして、一人ひとりの『好き』（興味・関心）を育み、『得意』を伸ばしながら、年度末を迎えようとしています。一人ひとりのよさが育つ一年になったのは、支えてくださった皆様のおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。

この春修了するいるか組さんには、この先の長い人生も、支えてくれる周りの人への感謝の気持ちを忘れずに、一人ひとりのもつ「にじいろのちから」を信じて、自分らしい花を咲かせていける人生となりますよう願っています。

今年度も、本園の教育にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

幼稚園経営計画 3 幼稚園経営の方針からの抜粋

<一人ひとりのよさを受け止め共に育む保護者>



- ③ 学級や園の子どもたちの成長を、先生や保護者と共に喜び合える保護者
- ④ 幼稚園の教育活動に理解や協力をし、信頼関係を基盤にして園や地域と共に子どもを育む保護者

